

女性活躍推進事業【富士宮市】

地域の実情と課題

当市は富士山の湧き水を活用した企業が多く、また北部の広大な朝霧高原においては酪農及びキャンプ等といったアウトドア系の産業が発達しているのが特色である。市内で働く労働者を増加させるためには、子育て中の女性の社会参画が必要不可欠である。年齢階級別労働力率についても、30～34歳の女性の数値が国が73.5%であるのに対し、当市は71.8%となっており、国の平均に達していないのが現状である。また、以前の3世代同居からの核家族化への家族形態の変容、家族の転勤等に伴う転入により、ワンオペ育児が増加し、子育て中の母親の孤独が高まり、悩みや不安から社会復帰を考えるゆとりがない状況にある。これに対し、当市では総合計画で「女性が輝く、さくや姫プロジェクト」と題し、女性が持つ力を最大限発揮できる環境を作り、女性の社会復帰を後押しするような事業を行ってきた。

事業の特徴

・妊娠出産子育てシェアサポート事業

子育て中の母親がスキルアップ及び自分の社会参加について相談する場を提供し、自身が講師となり講座を開く機会を提供することで、社会参加の一助とする。

・ハハラッチ事業

子育て中の母親が市公認の記者になり、取材を通して社会と関わり、記事を書くことでスキルアップを行う。

事業の効果

・妊娠出産子育てシェアサポート事業

参加者に向けたアンケートを実施し、参加前に比べ参加後の満足度が高くなる傾向および、参加回数を重ねるにつれ満足度が高くなっていく傾向が見られたことから、参加者が不安に思っていること、挑戦したいことに対する問題を軽くすることができたと考える。

・ハハラッチ事業

新規の母親ライターを7名育成し、総勢41名のライターが活動する事業となった。今年度における新規掲載記事は100件を超え、母親たちの目線を通じた情報の発信を積極的に行うことができた。

目的・目標

目的①

母親たちの社会復帰が妊娠・出産・子育ての各ステージで生じる悩みや不安を解消するため、やりがいや喜びを当事者同士で分かち合い、支え合う機会を提供すること、地域全体を巻き込んだ温かな支援のネットワークを形成することで、当事業に係る女性を社会とつなぎ、女性の社会参加や活躍を促進すること。

目的②

子育て中の母親たちのスキルアップに繋がる経験不足からの不安、社会との関わりが希薄になりがちであるという点の解消のため、子育て中の母親たちの書く能力に重点を置いたスキルアップを行い、地域とのかかわりを持つことで社会参加への意欲を高めること。

連携団体

・NPO法人母力向上委員会

市内NPO法人。事業委託先。

・女性応援会議

市が事務局を務める女性活躍について幅広い意見を募るための会議。

今後の課題

・妊娠出産子育てシェアサポート事業

新型コロナウイルス感染症の影響か、子どもを連れて来ても安心して参加できる催しに対する需要が高いことを把握できた。社会との関係が希薄になりがちな母親たちの孤独さを解消しながら、社会への参加を後押しできるものが必要であると考える。

・ハハラッチ事業

取材活動を通して孤独になりがちな母親を社会とつなぎ、社会参画への意識を高め、実際に社会に復帰していく母親も多くなっているが、その後連絡を取りづらいライターも出てきているため、その後を把握できるような管理体制を検討する必要があると考える。

事業の概要

個別事業①妊娠出産子育てシェアサポート事業
・母親たちの社会復帰のため、妊娠・出産・子育ての各ステージで生じる悩みや不安を解消し、妊娠・出産・子育ての各ステージで生じる悩みや不安、やりがいや喜びを当事者同士で分かち合い、コロナ渦の中で支え合う機会の提供。

・社会全体を巻き込んだ温かな支援のネットワークを形成すること及び、当事業に係る女性を社会とつなぎ、女性の社会参加や活躍を促進することを目的として、講座及びイベントを行う。



個別事業②ハハラッチ事業

・子育て中の母親たちのスキルアップに繋がる経験不足からの不安、社会との関わりが希薄になりがちであるという点を解消するため、養成講座を行うことでスキルアップを行い、市公認の記者として認定することで、社会参画への自信を持ち、取材に行き記事を発信することで、地域との関わりを創出する。

・他自治体の同様事業関係者と交流することで地域を超えた発展を行う。

